

整理 番号	市民意見	市の考え方
1	耐震性能　Ⅰ類、A類、オーバー気味に満足すること。コスト、デザイン関係なく対応の事。 ・図面で構造フレーム長辺は満足。短辺不足（少ない）では。	新庁舎は防災拠点となる施設として、大地震動後も構造体の補修をすることなく建物を使用できるような耐力を有したものとするため、国土交通省の技術基準である「庁舎施設の総合耐震・対津波計画基準」に基づき、構造体はⅠ類、建築非構造部材はA類、建築設備は甲類としています。また、敷地形状や必要面積から南北に長い建物となりますが、建物南北の両サイドに地震力を大きく負担できるコアを構築し、合理的で安定した構造となるよう計画します。
2	かしわらテラス2Fで大和川・石川の水面見えますか？ 親水庁舎、good今少し詳細の断面図で検討して下さい。	親水庁舎として「かしわらテラス」を計画しています。断面図で視線の検討は行っていますが、その計画高さは、現本庁舎や別館の２階とほぼ同じ高さであり、その視線で確認しますと、大和川及び石川の水面は見ることができます。
3	大和川河川敷公園へのアプローチ、国道25号線を横断することになる。現状と同じ。国道の横断は大変です。国道25号線を隧道で渡れないか。信号なしで。 ・大和川の水位を考えると、難しい計画か。？	隧道(トンネル)で庁舎敷地から大和川河川敷公園へというご提案ですが、大和川の高規格堤防にトンネルを築造することは、治水上、難しいと考えます。
4	レイアウト上、難しいことですが、各階、市民待合エリアは西日の当たる場所です。西日対策に、外壁に大版縦ルーバーを計画されている。ルーバー設置の為にビュー（景色の見え方）が犠牲になっている。難しいですね。（各階平面図に方位の記載無し）	ご意見のとおり、西日対策と外観、また、眺望(ビュー)の検討ついて、苦心しているところです。現在、縦ルーバーの間隔、日射や照度、熱のシミュレーション、眺望遮蔽率の検証を行い、バランスの取れた縦ルーバーの設置方法を検討しているところです。
5	別館の改修計画 ・現状の別館の耐震性能はどうなっているのでしょうか。？ ・新庁舎と別館レベルが500mm差が付いている。現状別館の1Fレベルより500mm上が新しい1Fレベル天井高さ取れません。どうする。？	別館は平成７年に建設された建物で、新耐震基準（1981年）により耐震性能を有しております。また、新庁舎の基本コンセプトから、別館とのフロアレベルで高低差が生じますが、新庁舎と別館をつなぐ渡り廊下をバリアフリー対応のスロープとすることで、レベル差を解消できるよう計画します。
6	災害対策フロアー現状4FL。危機管理室等4FLより別館1FLの方が良いと思う。（活動・市民の対応を考えると）	市役所周辺は住宅地ではなく、また、市内地区ごとに指定避難場所があることから、発災時、市民は近くの指定避難場所に避難されることが想定されるため、市役所は避難所機能より防災活動拠点機能としての役割が高くなります。そのため万が一の浸水被害にも備え、危機管理課、市長室そして、災害対策本部となる中会議室、災害対策会議室となる大会議室は新庁舎４階の同一フロアに配置しています。また、災害活動の実働組織となる上下水道部、都市デザイン部が入る別館と新庁舎は渡り廊下でつなぎ、災害時の連携が円滑に行えるよう計画しています。

整理 番号	市民意見	市の考え方
7	市庁舎の西側には、広がりのある大和川が流れており、夕陽を見るスポットとしては絶好の位置です。柏原テラスよりも上層階の4階、5階の北側の管理諸室、会議室を一部展望スペースに変更して、市民向けの憩いのスペースを作ることはできないでしょうか。	来庁者の利用頻度が多い部署が配置されている1～3階は、建物西側に待合スペースを設けることで、大和川の景観を望める計画としています。そのため、構造上、災害対策会議室となる大会議室や議場といった大空間となる室は西側の配置となります。4階から5階には、こういった理由からご意見のような広い眺望スペースを設けることは難しくなりますが、市民向けの憩いのスペースとして、2階部分のかしわらテラスとテラスに接する多目的室、ロビーを設置し、大和川の環境を身近に感じることでできる空間として利用できるよう計画しています。
8	兵庫県太子町や新潟県長岡市では、議場の一部にガラスを用いた開かれた議場を整備しています。最上階の議場について、ガラスの箱を設置するように、透明で明るく開放的な空間にすることはできないでしょうか。	議場は、現況より多くの方の傍聴が可能となるよう、傍聴席を35席程度設けることとし、5階の傍聴ロビーや1階ロビーに、議会の状況を放映できるモニターを設置するなど、市民の方々に親しんでいただける議会となるよう、議場や設備の計画を行います。
9	柏原テラスに至る外階段について、緑の芝生階段にできないでしょうか。	階段表面は滑りにくいこと、段差は視認しやすいことなど利用者の安全性を重視して階段を計画する必要があります。階段そのものを芝生にするのではなく、階段下部には芝生広場を設けること、かしわらテラスには一部を緑化することなどで、緑を確保する計画としています。
10	柏原の名産であるブドウを施設計画デザインに活かしてほしい。幼少期、ブドウ畑でブドウ狩りをした際、気持ちの良い木漏れ日が降り注いでいた風景が非常に印象に残っています。芝生広場や柏原テラスのようなオープンスペースに、ブドウ畑の木漏れ日を感じられる木々を設置できないでしょうか。また、サイン計画にブドウの房をイメージしたサインを使う等、“柏原ならではの”を活かしたデザインにして頂きたい。	敷地の緑化は、都市計画法や大阪府自然環境保全条例などにより必要面積が規定されています。また、庁舎敷地は災害時の応援集結場所、イベント開催場所ともなるため、芝生広場やかしわらテラスの緑化についてはそれらを考慮し計画することになり、木漏れ日を感じるまでの木々の設置は難しいですが、できるかぎり来庁される方々が憩うことのできる緑化計画とします。 また、サイン計画については、来庁者の使いやすさ、分かりやすさ、業務効率の向上を具現化するため、直観的にわかる、誰にでも見やすい、空間に調和しながら主張するデザインとなるよう計画してまいります。
11	構造躯体はRC造やS造ですが、庁舎内の床仕上げを木目調にする等、人に温かい空間を希望します。京阪枚方市駅で整備された無印良品による木目調デザインは参考になると思います。	床の仕上げについては、歩行音の吸収・耐衝撃性・配線などを考慮するほか、清掃や補修といった維持管理のことも踏まえ、各フロア、用途に合った材質、デザイン等を計画します。

整理 番号	市民意見	市の考え方
12	市庁舎を作る過程で、市民一人一人が自分たちも参画したという歴史を築けたらと思います。例えば、柏原テラス床の仕上げブロック等をピース状のものにして、市民有志でピースを埋込んでいく等、作る過程で市民が庁舎建設に参画できるアイデアを期待します。また、工事中に市民向けに現場見学会を開くお考えはありますでしょうか。	工事中に設置する敷地周囲の仮囲いに、地域の子どもたちが描いた絵などを掲示するコーナーを設置し、地域市民の方々に親しみをもたれる計画とします。また、市民の方々とつくり上げる庁舎としては、かしわらテラスの緑や花をご一緒に植樹することなどを検討しております。その他、工事中には市民の方々や児童を対象としました現場見学会を開催し、庁舎建設と防災について理解を深めていただく機会を設けることを予定しています。
13	スポーツメーカーが展開するカフェのように、ランニングやサイクリングの途中に立ち寄れる中継スポットがあると良いと思います。市内には自転車メーカーもあり、サイクリングで街づくりを進める試みもされていると聞いています。具体的に、市内のスポーツ関係企業やスポーツ団体と連携した庁舎建設・運営をしていく可能性について、何かお考えがありましたら教えて頂けないでしょうか。	1階北側にコンビニ・売店等のスペース、2階北側にかしわらテラスを配置することで、外部から直接アクセスできる市民エリアを計画しています。これらは、ご意見にあるようなサイクリングの立ち寄りスポットとなるほか、大和川河川敷からつながる外部交流空間となることを想定しています。開放性の高い空間とすることで、賑わいと活気を生む市民の交流の場として計画しますが、施設のセキュリティーや管理運営などの課題点も含め、今後検討してまいります。
14	大和川の水の流れを活用した水力発電、地中熱の活用について、検討の経緯があったかご教示ください。	大和川の水の流れを活用した水力発電、地中熱等については、工期的、費用的なこともあり難しいと考えます。新庁舎の環境保全や省エネルギーについては、太陽光発電や雨水の雑排水利用を検討しています。
15	人口が減少している柏原市にとって、重荷とならないように希望します。 「教育・福祉・防災等に予算がない」 「市役所残って市民いなくなった」になれば最悪 建設費、維持費等です。 内装、外装も費用のかからないようにお願いします。 議会フロアも含めて 4階閉鎖的です。 執務室は基本的に市民にOPEN。 市長の姿勢に注目です 家族はめったに市役所に行きません。 市民から羨望の目で見られないように願います。	新庁舎の基本コンセプトは、我が国の防災のシンボル"大和川"沿いの新庁舎にふさわしい「防災庁舎」、交流を促進し地域を活性化する「親水庁舎」です。現在、市民の方々が使いやすく、安心・安全を守る防災拠点として機能する庁舎の設計を進めています。 ご意見のとおり、人口減少時代、財政的なことも検討し、新庁舎建設にあたっては、旧耐震基準の庁舎建替え等を促進するため創設された「交付税算入がある起債」を充当する財政計画を基に進めています。もちろん、設計についても建設費や維持管理費等の抑制を念頭に進めています。ご指摘の4階については、災害対策会議室などの防災機能を集約し、また、5階については音響環境が必要な議会機能を配置していることから、他階と比べ開放的な空間が少なくなっています。